



黄緑のやすらぎ

ジャムリゾート



CONTENTS

- 環境月間
- 世界遺産推進
- HOT話題
- 出会いふれあい

歴史の散歩道

(78)

竹内芳契と

「越前名勝志」

「越前名勝志」は、竹内芳契によって江戸中期の元文三年（一七三三）に出版された。上・下の二巻よりなっている。上巻には敦賀・南条・今立・丹生・足羽・吉田の各郡が、下巻には坂井・大野の二郡が掲載されている。大野郡の内、勝山市内の項目は、伊知地、東野連照寺、壇ノ古城、五砂磯、村岡山朝倉式部太輔景鏡墓、城跡、白山白山神社、白山平泉寺、伊野原、弁ノ滝、女神川、雄子上・七難ノ岩屋、妙法端城跡、御諸・葛原村、三室山城跡、鍋取山城跡、筥ノ渡である。これらは現在の私共が、郷土の地誌・歴史を調べるのに欠かすことのできない資料である。

芳契は丸岡藩士であったが、元禄八年（一六九五）に藩主本多氏が改易、芳契は二十六歳で浪人となった。その後、幕府領の椎原（志比原）村に居住して医業に就き、家塾を開いて門弟を導いた。宝暦五年（一七五五）に没する。寿庵の名で知られ、そのかたわら越前をくまなく旅して回り、見聞し調査した長年の労作を「越前名勝志」に記した。大野藩医平泉養徳が越前名勝志の序文を書いており、その中で「性沈雅（落ち着いた雅量がある）にして、名望を求めず、寡欲にして勢利に走らず」「群書を家塾に講じ、風雅な集いで清談を楽しむ」



越前名勝志 (上巻)



志比原の竹内家墓地

など彼の人物について述べ「花晨月夕（花の朝、月の夕べ）、飄々然として山岳に陟り、杖を曳いて古跡を尋ねる」とある。「宝永三年（一七〇六）、伊勢参りを果たし、帰りに畿内を旅して旅行記を書いた」「晩年は仏学に帰し、享保の初め、宗祖（親鸞）の遺跡を慕い二十四輩（関東）の寺を巡り二十四輩記を著す」とある。

「越前名勝志」は自らの見聞のほかに、先に出された「帰雁記」その他を参考にしており、その七十七年後の文化十二年（一八一五）、井上翼章によって著わされた「越前国名蹟考」には、「越前名勝志」が各所で参考にされている。

写真（下）は竹内家（現在は芳昭氏）の墓地で、墓誌からは、江戸時代には代々寿庵を名乗って医業を営み、門弟の指導にも当たっていたことがうかがわれる。

勝山市文化財保護委員 増田公輔



編集後記

▶一雨ごとにその鮮やかさを増す木々の緑に目を休め、しとしと降る雨に生命の育みの音を感じ取る6月。入梅は、例年よりやや遅れそうとの予想です。とかく湿気で嫌われる梅雨ですが、暑い夏を迎える前の一息入れる時節として雨の季節も好意的に受け止めたいもの▶8月5日に行われる市議会議員選挙の立候補予定者説明会が今月末に開催されます。議員定数を16人とした初の選挙で、市民の関心も高いところですが▶6月議会が終了すると、新たなステージに向けて熱い戦いが始まります。

休日・祝日在宅当番医

診療時間▶AM9:00~PM5:00

6/17 (日)	福井社会保険病院 ☎88-0350
6/24 (日)	石川医院 ☎89-1008
7/1 (日)	竹下中央内科医院 ☎88-1121
7/8 (日)	河北小児科医院 ☎88-1234
7/15 (日)	武藤外科医院 ☎88-0266
7/16 (月・祝)	佐々木胃腸科外科医院 ☎87-2616

○休日に体調が悪くなったときは、ご連絡ください。

☎消防署 (☎88-0400)

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成19年5月末	前年比
総件数	218件	-30
人身事故 (うち高齢者)	41件 (14)	-5 (+4)
死者 (うち高齢者)	1人 (0)	+1 (±0)
傷者	48人	-10
物損事故	177件	-25

6月の納税

市県民税▶1期 (全納)
納期限▶7月 2日 (月)
口座振替▶6月26日 (火)

人口の動き

	4月末現在	自然動態		社会動態		5月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	13,097人	7	14	17	29	13,078人	-19人
女	14,354人	4	18	23	25	14,338人	-16人
合計	27,451人	11	32	40	54	27,416人	-35人
世帯数	8,129世帯					8,135世帯	6世帯

火災発生

☎88-5100 (テープ吹き込み)

毎月第3日曜は

家庭の日 社会のきまりをまもり 明るいまちやむらをつくろう